

- 問1 人口が約628万人で、他都県への通勤・通学者数が約80万人と全人口の約12.7%を占めるほど多く、かつ製造品出荷額等の内訳において「石油・石炭製品」が約23.1%で第1位となっている統計データがあります。このデータが示す、千葉県の東京湾沿いに位置する工業地域を何といいますか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 京葉工業地域 2. 瀬戸内工業地域 3. 中京工業地帯 4. 阪神工業地帯
- 問2 かつて果樹園が広がっていた「鍋島農場」が、現在のように博物館や学校、多くの住宅が立ち並び「松濤」という地域へと姿を変えた背景にある、都市の機能が拡大し土地利用が変化する現象を何と呼びますか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 情報化 2. 都市化 3. 工業化 4. 過疎化
- 問3 国土地理院の発行する地形図において、皇居外苑の南側に位置し、法務省や警視庁といった官公庁の建物に隣接して記載されている歴史的建造物（門）の名称として正しいものを選択してください。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 二重橋 2. 半蔵門 3. 日比谷門 4. 桜田門
- 問4 6月から10月にかけてピーマンの出荷量がピークを迎える茨城県など、関東地方の太平洋側に位置する地域の「冬の気候」について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 季節風が山脈に突き当たるため、冬の時期に雨や雪の日が最も多くなる。 2. 一年を通じて降水量が少なく、冬でも月平均気温が常に15度を超える。 3. 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい北東の風の影響で、冬は常に霧が発生する。
- 問5 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。 2. 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。 3. 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。 4. 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。
- 問6 関東地方に位置する茨城県は、野菜の産出額が約1890億円という非常に高い数値を記録しています。このように、巨大な消費地である東京などの首都圏への近さを活かし、新鮮な野菜を大量に供給する農業の形態を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 促成栽培 2. 抑制栽培 3. 近郊農業 4. 施設園芸
- 問7 関東地方の各都県の工業について述べた次の文のうち、2011年の統計において製造品出荷額の合計が約11兆9000億円にのぼり、化学や石油・石炭製品、鉄鋼などの重化学工業を主体とする千葉県の特徴を説明しているものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 情報通信機械器具などの電気機械工業の割合が高く、内陸型の工業が発達している。 2. 印刷業や出版業の割合が他県に比べて高く、出荷額合計は約8.9兆円である。 3. 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。 4. 自動車などの輸送用機械の割合が最も高く、出荷額合計は約17.9兆円に達する。
- 問8 明治時代に日本の近代化を支えた、群馬県を中心に分布する養蚕・製糸業に関連する世界文化遺産は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 明治日本の産業革命遺産 2. 白川郷・五箇山の合掌造り集落 3. 富岡製糸場と絹産業遺産群 4. 石見銀山遺跡とその文化的景観
- 問9 栃木県、群馬県、茨城県の3県にまたがる工業地域の説明として正しいものはどれか。製品出荷額の内訳において、金属、化学、食品などの他業種に比べて機械工業の割合が非常に高く、出荷額の総計が約30兆円規模に達するという特徴がある。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 京葉工業地域 2. 鹿島臨海工業地域 3. 北関東工業地域 4. 京浜工業地帯
- 問10 千葉県に位置する成田国際空港が、横浜港や名古屋港などの大規模な海港を抑えて、貿易額（輸出入額）で国内首位となっている理由として最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 世界最大のコンテナターミナルを有し、大型貨物船による大量輸送のハブとなっているため。 2. 旅客数が日本で最も多く、入国者が持ち込む免税品の総額が貿易額に含まれているため。 3. IC（集積回路）や医薬品など、小型で軽量かつ高価な製品の取り扱いが多いため。 4. 鉄鉱石や原油といった、日本の産業に不可欠な重量のある資源の輸入拠点となっているため。
- 問11 京浜工業地帯において、出版・印刷業や情報通信などの情報サービス機能が高度に集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため 2. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため 3. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため 4. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため
- 問12 2015年の統計において、東京都の住宅地の平均地価は1平方メートルあたり323.8千円と、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県に比べて著しく高い数値を示しています。このような状況下で、東京都の「昼間人口」が「夜間人口（常住人口）」を大きく上回り、昼夜間人口比率が118.1%に達している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 東京都内の大学や事業所が次々と周辺県へ移転したことで、周辺県から都内へ買い出しに来る人が増えたため。 2. 住宅地の平均地価が高い東京都を避け、住居を周辺県に求めながら、都内へ通勤・通学する人が多いため。 3. 周辺県の住宅地の平均地価が東京都を上回ったため、都内に住居を構えて周辺県へ通勤・通学する人が増えたため。 4. 東京都の夜間人口が急激に増加したことにより、相対的に昼間の活動人口が少なく見えるようになったため。
- 問13 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 福島県 2. 滋賀県 3. 群馬県 4. 栃木県